

次期新学習指導要領について

大谷大学教職支援センター

教授 関口 敏美

教員をめざす皆さんは、教職課程の履修の他に、学校ボランティア活動、教員採用試験の準備や模擬授業の勉強会など、日々さまざまな形で自主的な学びに取り組んでいます。しかし大学での模擬面接などから感じるのは、学校教育に関する政策的な動向や一般的な知識が弱いことです。そこで、今回は、次期学習指導要領の改訂のポイントを紹介します。

現在、2020年度から始まる新たな教育課程に向けて教育改革スケジュールが進められています。8月26日に中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会で、「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」がとりまとめられました。次期学習指導要領は、2016年12月中に中教審の答申が出され、2017年3月には告示される予定です。これを受けて、教科書が改訂され、教育職員免許法も改正されることになります。

「審議のまとめ」に示された改善の方向は、“よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る”という目標を学校と社会が共有し、連携・協働しながら新しい時代に求められる資質・能力を育む「社会に開かれた教育課程」を実現することです。そして「何を学ぶか」という指導内容の見直しだけでなく、「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」までを見すえて「生きる力」とは何かを資質・能力の三つの柱を踏まえて整理しています。

ここでいう資質・能力の三つの柱とは、①生きて働く「知識・技能」の習得、②未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成、③学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性」の涵養、のことです。

その際、子どもたちが「どのように学ぶか」に着目して学びの質を上げていくためには、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざしたアクティブ・ラーニングの視点から授業改善を行う必要があること。また、学んだことを人生や社会のあり方と結びつけて深く理解し、必要な資質・能力を身につけていくために、学びの量と質を重視するため学習内容の削減は行わないこと、を提示しています。

このような学習指導要領の改訂を受けて、大学における教員養成も改革されます。具体的には、道徳と外国語活動の充実、特別支援教育やICT教育、防災・安全教育など新たな科目が追加されますが、「チーム学校」が導入されると、様々な人と協力して学校を運営していく力が要求されます。したがって、教員をめざす皆さんは、こうした教育改革の動向にも絶えず関心を持ちながら、教員に必要な授業力・生徒理解力・学級経営力に加えて、協働する力を身につけておくことが必要になります。



《教採を終えて、後輩の皆さんに伝えたいこと》

— 学習の工夫や苦勞・成果等をふまえて —

自分で自分の未来を切り開こう 教育・心理学科 4年生 高橋 竜歩(京都府受験)

私は、学校ボランティアを始めたのが遅く、採用試験の面接で学んだことや経験したことを問われ、具体的に説明できませんでした。もっと早く活動し始める必要を感じています。「やれること」「必要なこと」は、早めに動き出すことです。

筆記試験や面接試験の対策は、毎日友だちと学習・練習しました。何度も繰り返すことに意味があると思います。不安や緊張を乗り越えて仲間と共に努力したことは、自分に返ってきます。努力は、裏切りません。必ず自分の身になっていると考えています。

後悔が残った

教育・心理学科 4年生 吉尾 蓮(熊本市受験)

「あと一週間、時間が欲しかった。」自分なりの努力はしたが、実力不足だったと強く感じた。同時に、歯が立たない遠いことでもないと感じた。

私は、学力にも自信がなく、教採対策をしたのも4年生になってからだ。初めは、あきらめていた。しかし、勉強を始めると「できそうな」気がしてきた。遅れてスタートした自分でも努力次第では、合格は夢ではないと感じてきた。「あと一週間、時間が欲しかった。」死ぬ気で努力すれば、教採の合格はできると感じている。

仲間がいたから頑張れた

教育・心理学科 4年生 黒川 佳那(滋賀県受験)

大学推薦が得られないと分かった四月、私のスイッチが入った。三年生から始めていた教採の勉強に、これまで以上に集中して取り組むようになった。自分の学習方法を見つけ、自分のペースをつくり、気持ちを集中させることができた。

継続して学習できたのは、「仲間の存在」も大きい。同志たちとともに支援センターで学習したり議論したりすることで、「頑張る力」をもらっていた。教採は、情報を得ることも重要だ。傾向などの情報を交流して、全員で合格する気持ちを持って試験に臨むことを勧める。

最後まで あきらめないで

教育・心理学科 4年生 中林 昂平(京都市受験)

教師への志を持ち続けることは、学習を積み重ねる原動力となった。初めは、自分に合った学習方法を探し出すことが大切だと思った。私は、仲間と共に学習を重ねることで自分に合った学習方法を見つけようと考えた。それは、励まし合ったり、自分では見つけられない方法を教えられたり等、刺激し合うことで教採を目指す環境作りにつながった。

私は、教採に向けて「自分のできることを精一杯やった」と感じている。後輩には、自分を信じて努力を続け、あきらめることなく最後まで目標に向けて突き進んでほしい。

「全力」「笑顔」がモットー

教育・心理学科 4年生 竹林 霞（香川県受験）

教採を受けるにあたっての私のモットーは、「全力」「笑顔」だ。そして、今後も心の中に掲げておきたい言葉でもある。自分らしさも大事にしながら、決めたことは、最後まで全力でやりきる努力をしてきた。ときに、苦しくなったり辛くなったり、自分に自信が持てなくなることもある。そんな時の私は、思いっきり友だちと話したり遊んだりしながら発散して気分を変えた。リフレッシュした後は、自分の良さを出しながら再び歩き出した。

『みなさん、「笑顔」「努力」「あきらめず」で頑張ってください。』

強い意志を持って継続すること

教育・心理学科 4年生 西垣 美彦（天理小受験）

私は、私学の小学校を受験したので、早い時期から情報を集め対策を講じる必要がありました。教採は、教師としての適性を評価されることも大きなポイントです。その中心は、面接だと思っています。面接は、自分の考えをまとめ伝えることが必要です。実習や学校ボランティアの経験をしながら、何を学んだかを明らかにすることによって、自分の考えが定まってきます。そのことが、採用試験に大きく活かされるのです。

試験のためだけの学習でなく、実践できる力を持つために「強い意志」で学習を継続してください。

未来の自分と子どもたちのために

教育・心理学科 4年生 水藤 綾音（豊能地区受験）

私は、教採に向けて二つのことを大切にしました。一つは、基礎学力をつけるために毎日コツコツと勉強したことだ。二つは、常にプラス思考で想像をしながら教採に取り組んだことだ。

前者は、「毎日」が重要な要素だ。気分の乗らない日があっても、「ちょっとだけ」頑張った。そうすれば、止まらず少しは前に進む。行動することが、大切だと考えている。その積み重ねが、自信につながる。

後者は、「どんな教師になりたいか」「教師になって何がしたいのか」をイメージを持って考えることで、気持ちの高揚をはかれる。

皆さんも自分のペースをつくり、未来の自分づくりとやがて出会う子どもたちを思い、精一杯頑張ろう。あなたの周りには、力強い仲間と先生方の存在があることをわすれずに。



教職をめざす3年生の皆さんへ

今年の教員採用選考試験も終わり、合否の発表が次々と実施されています。採用試験は、一次試験・二次試験と約一か月にわたり行われます。（堺市や石川県は一次試験のみ、大阪府は三次試験）試験内容も豊富で多岐にわたり、受験生の教師への適性を試されます。朝早くから夕刻まで緊張が続き、終われば疲れ切った自分に驚くほどです。ある受験生は、「フーウ」とため息をつきながら「おわったー」と思わず叫んだそうです。それもそうです。「試験も苦しかったけれど、試験に至る今日までこんなに勉強したことがなかった。」そうです。率直な思いが、飛び出したのも、わかるような気がします。

さて、3年生の皆さん。

この秋からは、あなた方の出番です。大学入学後1・2年生から教師を意識して学習を積んできた人もいることでしょう。3年生から強く意識してきた人もいたり、気持ちはあるがこれといった行動がない人もいたり、さまざまでしょう。しかし、どの受験生にとっても来年7月の試験日は同じであり、決まっています。自分の力をしっかり分析して今からの残された9か月間を無駄なく・悔いなく行動していきましょう。

今、あなたに強い「本気」を求めます。あなたの夢を本当に実現したいなら、思いや願いだけではなく、着実な行動が必要なのです。「いつも、なんとかなってきた」と思っている人。教採は「なんともなりません」「子ども相手は、得意」「人と話すのは慣れている」と高をくくっている人。教採は、「甘くは、ありません」。

『本気』は、目標に向かって行動することが不可欠です。今、動き出すときです。（アドバイザーの座席の後ろの壁に、学習計画の例を示しています。参考にして、自分の計画を作りましょう。）



今後のアドバイザー室、支援予定

- 9月～12月（相談・指導）
 - ① 論作文充実指導 ② 教師力充実指導 ③ 教採支援
- 11月 論作文短期セミナー（5日間 - 水曜）
各自治体教育委員会 来年度の教採説明会(予定)
大谷大学には、近畿のいくつかの教育委員会が来校予定
- 2・3月 春期面接・論作文セミナー実践編(2日間)
- 3月 春期志願書記入説明会実践編
- 4月～7月 教採直前講習(10回)
— 面接実践・論作文実践 —